

恩師からの言葉

人の心を「キラキラ」「ワクワク」させられるような存在でいてね!



恩師の茨木晴子さん(左)菊池衣恵さん(右)

コロナ禍で大変だけど、逆境に負けず自分の夢に向かって頑張ってるね!

片道1時間も掛かる群馬県太田市のバレエスクールに、毎日通っていたのはよく覚えています。家に帰る時間は遅かったと思うけれど、習い事や芸能活動と学校の勉強を両立できている姿を見て、すごい努力家だと感心していましたよ。

そんな美弥さんが、宝塚歌劇団で活躍していると知った時はとても驚きました。「グランドホテル」で涼風さんと同じ役を演じている彼女を見た時は、本当に感無量で涙が止まりませんでした。

最初は教え子の応援という気持ちでしたが、今では中性的な役柄を上手に演じる「美弥るりか」の大ファンです。これからも、多くの人に夢を与えられるような存在になって欲しいですね!

子どもたちへ

美弥さんからのメッセージ

興味がある事を続けたいときには「とことん極める」という強い気持ちを持つことが大切です。自分がやりたいと思ったことを素直に追求することで、いつしかそれが誰にも負けない武器になります。くじけそうな時にも諦めずに頑張ってください!



小学生時代の

思い出の場所



古河公方公園

3月になるとハナモモが満開に咲き誇る古河の名所。小さい頃からよく家族で遊びに行った思い出の場所で、地元へ帰省したときは、必ずと言っていいほど訪れるそうです。

Profile

古河第三小学校→古河第三中学校→桜丘高等学校(東京都)→宝塚音楽学校→宝塚歌劇団。

宝塚歌劇団では月組男役スターとして活躍する。現在はアーティストとして舞台女優やモデル、本の出版などさまざまな分野で活躍中。

「私」にしかできない演技を求めて

rurika miya

アーティスト 美弥るりか

3歳の頃から子役としてタレント活動をしてきた美弥さん。小学3年生の時、宝塚歌劇団をテレビで観て、宝塚の世界で踊ったり歌ったりしたいと強く思ったそうです。

元々踊ることが大好きで、小学生の頃から群馬県のバレエスクールに通われ、クラシックバレエを特訓されてきました。その努力が実を結び、高校1年生の時に宝塚音楽学校に初受験で見事合格を果たします。

入学後は、寮生活を送りながら歌や踊りだけでなく演劇やピアノなども学び、寝る間を惜しんで練習する日々を過ごしました。苦楽を共にした同期の仲間たちとは、今でも強い絆で結ばれていると話します。

宝塚時代の美弥さんは、男役を演じながら、作品によっては娘役や妖艶さがある中性的な役など個性的な役を次々とこなし、その演技力に多くのファンの人たちが魅了されました。さまざまな役を演じてきました。さまざまな役を演じることで、男性でも女性でもない、中性的な「美弥るりか」の理想形を追い求めるようになったそうです。

自身の演技に納得できるようになるに連れ、宝塚だけでなくほかの世界でも自分を表現したい、そして、多くの人に勇気を与え、幸せな気持ちにしたいという思いが芽生え、退団することを決めた美弥さん。今まで支えてくれたファンの皆さまや市民の皆さまにとって、より身近な存在になれるよう、これからも挑戦し続けますと話してくれました。